

保護者様

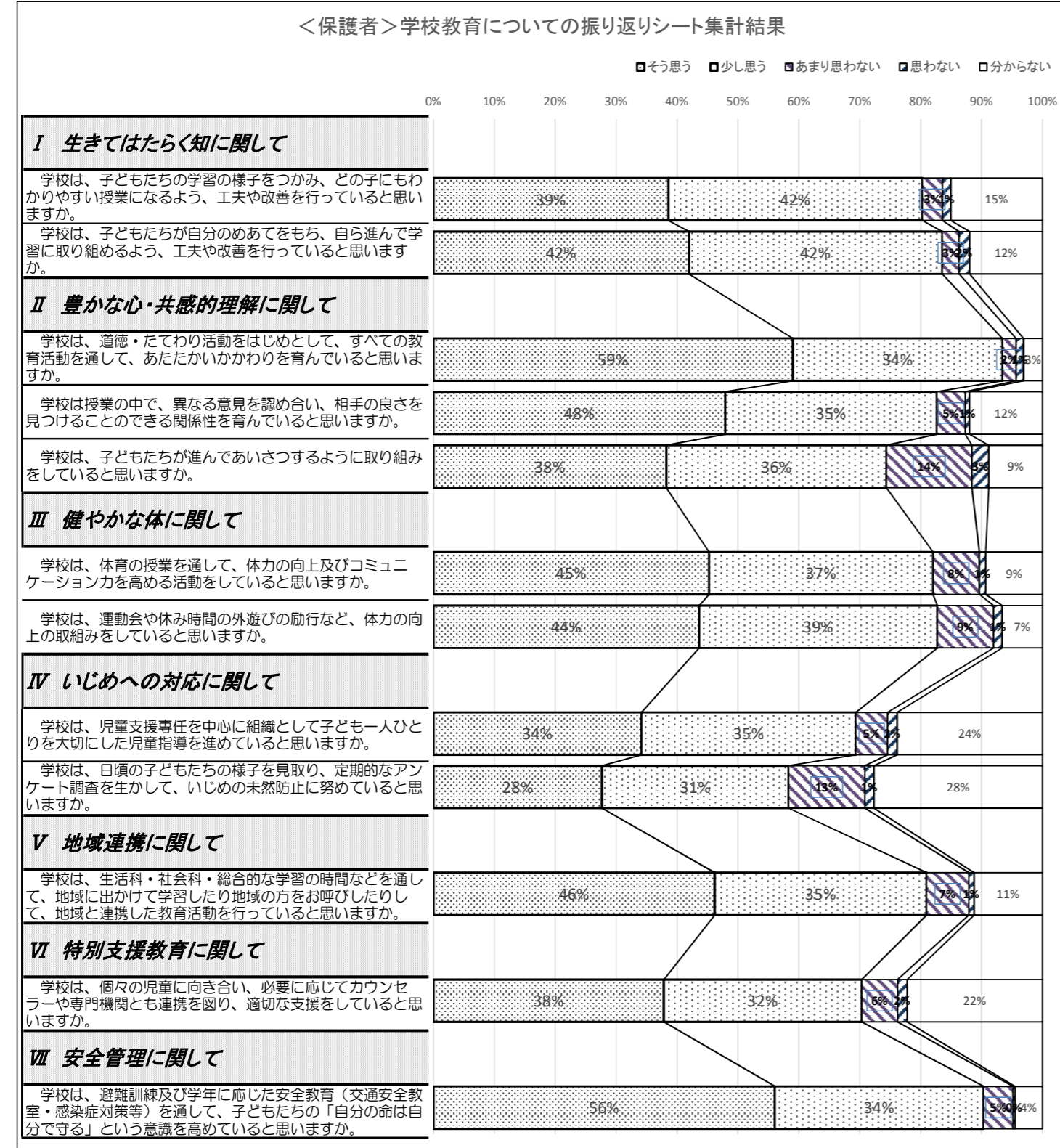
横浜市立西富岡小学校
校長 黒田 由希子

「学校教育についての振り返りシート」の集約について

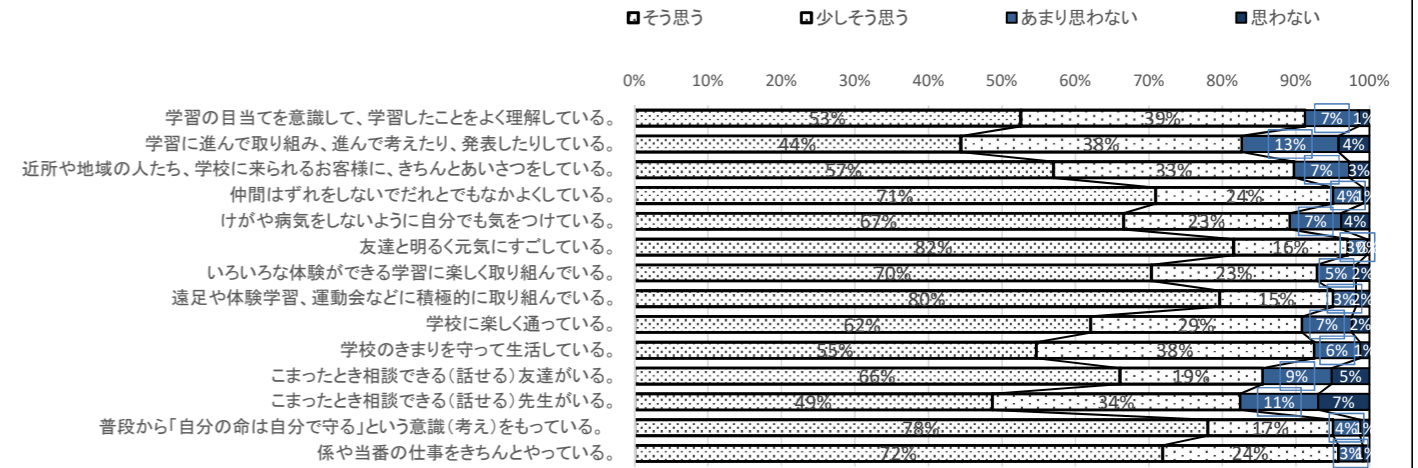
向春の候、皆様にはますますご清祥のことと、お喜び申し上げます。日頃より、本校の教育活動にご理解ご協力をいただきましてありがとうございます。

西富岡小学校では、学校教育目標「自進力！西富～実感・共感・主体性～」の実現に向け、中期学校経営方針の重点取組分野である「生きてはたらく知」「豊かな心」「健やかな体」「地域連携」等の観点で、様々な教育活動に取り組んでいます。

さて、先日ご協力いただきました振り返りシートの結果を集約いたしましたので、お知らせいたします。今回の振り返りシートの結果を今後の教育活動に生かしていきたいと考えております。今後とも、共に西富岡小学校の教育を創っていくという視点で、ご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。



＜児童＞生活・学習 振り返りシート集計結果



I 生きてはたらく知に関して
保護者の方のご意見（記述欄からの抜粋） ▲は課題として捉えているご意見です。

○タブレットを上手く活用した授業をしてくださっていると感じました。ロイロノートにアップされる、学習のふり返りや、図工の作品など、子どもと親と一緒に見ながら家庭でも話題にすることができ、リアルタイムに学習の様子を知ることができます。子どもも、苦もなく楽しそうにタブレット操作ができていて感心します。丁寧に指導いただきありがとうございます。

○いつもご指導いただき、ありがとうございます。友達との関わりから日々学んでいると感じます。また先生が丁寧に子どもたちに伝え、学びだけでなく、生活する上で大切なことを学んでいると感じています。

▲今回のアンケートでは、主にB評価をつけました。というのも、子供から聞く以外に学校の様子や先生方の取り組みなどがわからないから、とりあえず良いと信じてBにしました。

▲iPadで調べる機会が多いと聞いています。今の時代に欠かせないことであると承知していますが、本で調べる機会も増やしていただけると助かります。

【考察】
タブレット端末を活用した授業を始めています。子どもたちも操作に慣れ、情報を調べたり互いに共有したりすることが速くなりました。授業改善に対して一定の効果が見られました。また、読書活動にも力を入れています。児童の机には、右にタブレットを左には読書バックを掛けています。空いた時には読書ができるようにしています。今後とも、デジタルとアナログの両方の良さを生かした教育活動を行っていきます。感染症対策のために、授業参観や懇談会の機会が少なく、学校からの情報をご家庭にうまく伝えられていなかったのではないかと思います。来年度以降、授業参観や個人面談の時期を検討し、生活・学習状況をしっかりとお伝えできるようにしていきたいと考えています。児童のアンケートでは、学習したことを理解していると捉えている児童が「そう思う」「少しそう思う」を合わせると92%と、とても高いポイントを示しています。一人一人の児童が、主体的に学習していると実感できるよう、今後とも授業改善に取り組んでまいります。

II 豊かな心・共感的理解に関して
保護者の方のご意見（記述欄からの抜粋） ▲は課題として捉えているご意見です。

○学校生活、授業内容、活動において、先生方が子どものことをいろいろ考えて指導してくれていると感じます。特に縦割り活動を行うことで、他学年との関わりを深め、仲良くなり、これからの目標にできることが素晴らしいと思います。

○普段から良いと感じている点は、授業内や学校生活全般でわりと「異なる意見を認め合い、相手の良さを見つける」というように、共感的理解の習慣が浸透しているように感じることです。多様化している社会へ出ていく子供たちへ、このような教育を行っていただき、大変ありがたいと思います。

▲校内でのあいさつはしてくれる事が多くうれいす。ただ旗持ち当番の時のあいさつは、校内の時よりも圧倒的に少なく感じます。

【考察】
全ての回答の中で最もポイントが高かった項目が「学校は、道徳・たてわり活動をはじめとして、すべての教育活動を通して、あたたかいかわりを育んでいると思いますか。」です。本校の特色であるたてわり活動をはじめ、日常の一人ひとりに寄り添った関わりが成果として表れてきているのだと思っています。

あいさつについては、今回のアンケートで一番厳しい意見をいただいたと捉えています。しかし、児童アンケートでは、90%が「そう思う」「少しそう思う」を選択しています。子どもは、きちんとあいさつをしているつもりになっていても、周りから見るとまだまだだということに見えるということが分かります。旗振り当番や、校門でのあいさつ運動などで声をかけてもらえるのが、当然と感じている子どももいるかもしれませんが、あいさつをすることの意味や周りの人々への感謝について、考える機会を増やしていきたいと思っています。ご家庭でも、あいさつについてのお話をお子様にしていただければと思います。